



# 長崎市立三原小学校

寄り合っ、寄り添っ、みんなで育つ、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」

## MIHARA TIMES

令和5年11月24日発行

文責 校長 宮原 友彦

### ◆ ココロねっこ運動強調月間



今月は「長崎県ココロねっこ運動強調月間」です。ところで、「ココロねっこ運動」ってご存知ですか？

#### ココロねっこ運動とは

子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。

また、長崎県ではあいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取組を「ココロねっこ運動」として推進しています。

平成13年度からスタートした運動で、平成20年10月には「長崎県子育て条例」の中で県民運動として取り組むことが定められました。

#### 大人が変われば子どもも変わる

子どもは、親や身近な大人を成長のモデルとします。モデルである私たち大人が、ルールやマナーを軽視したり、人間関係のわずらわしさから他者と関わらずに生活したりしようとするのは、子どものよき手本となることでしょうか？

「子どもは社会を映す鏡」です。もし、子どもに問題があるとすれば、それは大人自身の問題として考えてみる必要があります。

#### できることから、大人から

子どもの育ちには、家庭が果たす役割が重要であることから、第3日曜日を標準日として、家族が子どもを中心としたふれあいを深める日としての「家庭の日」が広がるよう努めています。

※長崎県青少年育成県民会議のホームページから引用

そこで各御家庭では、皆さん当然、御存知の「あ・は・は運動」を意識した取組をお願いします。（長崎市が幼・保・小・中一貫して取り組んでいることです。）本年度、三原小では、さらに「は」を足した

「あ・は・は・は運動」に取り組んでいます。

あ…あいさつ・へんじ ふわふわことば!

は…はやね・はやおき・あさごはん!

は…はきものそろえ いい気持ち

は…はさみあるきをしっかりと!

子どもたちが安心して生活できるための「心理的安定性」は、まず言語環境を整えることから!

いろんな年齢の子どもたちが、共同生活する学校というところで、まわりの人を思いやる気持ちが大切です!

### 三原に吹く風

今年度は11月の全校朝会の講話「自分がいる場所を大切にしようとするハッピーメーカーになろう!」という話を受けて、子どもたちが代表委員会で話し合い、『言葉づかいを見直そう』という話合いがなされました。「呼び捨てをしない」「言葉づかいに気を付ける」「あおったりののしったりしない」など、それぞれの学年の発達段階に合った取組が始まりつつあるようです。はじめはうまくいかなかったとしても、あきらめずに仲間と力を合わせればきっとうまくいきます。大切なことは、簡単に「あきらめないこと!」スラムダンクの安西監督ではありませんが、「あきらめたら、そこで試合終了だよ。」あらためて含蓄のある言葉ですね。

### 宮原のつぶやき

新型コロナウイルス感染症がやっ和下火になったと思えば、9月からずっと市内の小中学校で100名を下回らなかったインフルエンザ感染症が猛威をふるっています。今週の水曜日にはついに1,000人を超え、学級閉鎖や学年閉鎖が30学級に届くような勢いです。インフルエンザもかつて「人生の幕をひく病気」と言われ、体力がない幼児や御高齢の方の命を奪っていったことを考えると、決して油断はできません。薬局でも薬が不足しているそうです。「換気」「手洗い」「うがい」を徹底して、睡眠をしっかりと、「早寝・早起き・朝ごはん」で、規則正しく生活することで、抵抗力をつけて、健康を維持していきましょう!